

常任委員会 レポート



議員は、三つの常任委員会のいずれかに必ず所属し、それぞれ調査研修を行っています。各々の研修視察で知り得たことを、今後の議会活動に生かしていきます。

総務文教

今世紀半ばにも発生が懸念されている東南海、南海地震に備えて津波対策と、自主防災組織の活動を研修するため、先進地である徳島市に研修に行きました。徳島市では自主防災組織の結成を促すため、促進員を置き各地域へ直接出向いて結成までの指導にあたっているとのこと。それに加えて公募によって防災指導員を募集し、地域での研修会の開催や防災訓練、防災マップの作成などに協力して地域ぐるみでの防災意識向上に多大な効果を上げてい

ます。これらはそれほど費用がいることもなく、明日からでも本町に取り入れて欲しいと感じました。次に阪神淡路大震災の際できた野島断層を見学しましたが地震のエネルギーのすごさを実感することができ貴重な体験をすることができました。地震や津波は日本中いつ、どこでも起こり得ることを再認識し、町民の防災意識の向上を図っていくことが大切であると実感させられました。

調査地 .. 徳島県徳島市・兵庫県淡路市
調査事項 .. 防災について（津波対策・自主防災組織の活動）
北淡震災記念公園の視察



建設産業

本町の窪町土地区画整理事業は、平成十三年に事業計画決定を行い、事業を進めてきました。しかし、地元との合意形成が図れず難航している中、本年度の施政方針で東地区の先行整備が示されました。今後の事業の進め方の参考にするために横浜市の金沢八景駅東口地区土地区画整理事業を研修に行きました。横浜市も昭和六十一年計画決定後、地元の反対で事業が一時的に中断していましたが、行政の説得により二つの地元組織が統一されて再開してい

ます。駅前立地を生かした魅力あるまちづくりを目指している関係者の熱意が感じられました。次にすでに事業が完了しつつある町田市の鶴川駅北土地区画整理事業を研修しました。ここも途中では減歩率について地元から反発が出て苦労したようでしたが、担当者が粘り強く交渉をした結果、来年度完成するところまできています。土地区画整理事業の難しさ、いかに地元との合意形成が大切であるかを実感させられました。

調査地・・神奈川県横浜市・東京都町田市
調査事項・・金沢八景駅東口地区土地区画整理事業の状況について
 鶴川駅北土地区画整理事業の状況について

調査地・・大阪府堺市（大阪府営大泉緑地）
 兵庫県神戸市長田区
調査事項・・ユニバーサルデザインを取り入れた憩いの場づくりについて
 長田区ユニバーサルデザイン研究会の概要について

本格的な高齢化社会を目前にし障害者も含めたすべての人にとって安全快適なまちづくりの概念である、ユニバーサルデザインを取り入れている自治体が増えています。その中でも先進地の大阪府営「ふれあいの庭」を研修してきました。この庭はあらゆる人が五感（音、香り、色、感触、味）を通して草花の色や香り、水の音や感触などを楽しむことができるよう配慮した、日本で最初にユニバーサルデザインを取り入れて造られたものです。そのハ

ード面での素晴らしいさはもちろんですがソフト面でも高齢者や障害者のために「ヒーリングガーデン」というボランティアを養成するなど、大いに本町でも見習うべきことが多いと感じました。次に神戸市長田区ユニバーサルデザイン研究会を訪ね、すべての人にやさしいまちづくりとは、というテーマで研修をしました。今後本町でも施設のあり方について考えていく必要性を強く感じました。

福祉厚生

